

# 教育ICT実践セミナー

2017

帯広大谷短期大学  
白樺学園高等学校連携事業

「2018。高校教育改革元年 -未来の教育を考える-」  
・新学習指導要領と高大接続改革をひもとく  
・教育ICTを活用したアクティブラーニング授業実践

主催 白樺学園高等学校・帯広大谷短期大学  
日時 平成29年10月13日（金）  
会場 白樺学園高等学校・とかちプラザレインボーホール

高大接続改革は、大学教育改革と高等学校教育改革、そして、それらをつなぐ入試改革（大学入学希望者学力評価テスト）からなります。

真の学力の3要素である「①十分な知識・技能  
②それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力③これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」が高大接続改革を貫くのです。ここに社会に若者を送り出す私たちの課題が見えています。2018年度には高等学校教育改革がスタートします。ともに、地域の未来の教育を考えていきましょう。

## <プログラム1 公開授業・模擬授業 >

時間 9:20~12:10

会場 白樺学園高等学校

### 1. ガイダンス

時間 9:40 - 10:00 (受付 9:20)

### 2. 公開授業

時間 9:50 - 10:40

### 3. 模擬授業

時間 10:50 - 11:40

会場 2年B組

講師 小田島新先生 岩手県立紫波総合高等学校

科目 数学

無線LANなんてなくてもできる「対話型」アクティブラーニング+ICT授業実践 (iPad Proさえあれば!)

### 4. 小田島新の授業解説

時間 11:50 - 12:10

会場 講堂



今回の模擬授業では、数学の「学年、校種」の枠を超えた「なぜ?なに?」を生徒に発問し、生徒の自由な発想・発言を引き出す「対話型授業」を展開する予定です。通常の発言、「せーの」による全員での発言、そして、ICTを用いた、自分のノートの発表を、校内無線LANのない岩手県での今年

度公開授業でやった通りお見せしたいと思います。授業法自体は「対話型アクティブラーニング」と大学の先生に命名いただき、論文にもなっている授業です。ICTを使うことで多くの生徒の「アイデア」を簡単に共有・評価できますので、是非ご覧いただければと思います。(小田島新先生)

## <プログラム2 シンポジウム >

時間 13:30 - 16:50

会場 とかちプラザ レインボーホール

### 1. ワークショップ

時間 13:30 - 14:20

会場 とかちプラザ レインボーホール  
エントランスホール

- ①小田島新の発問塾
- ②アクティブラーニングのお悩み相談会
- ③iPad Proさえあればなんとかなる教育ICT
- ④未来教室を考えよう

by ロイロノートスクール×ENAGEED

### 2. シンポジウム

テーマ 「変わる環境, 進める改革」

時間 14:30 - 16:50

会場 とかちプラザ レインボーホール

#### ●基調講演

「新学習指導要領と高大接続改革の動向」

時間 14:35 - 15:20

◆講師：塚田 淳氏

文部科学省高等教育局大学振興課専門官

#### ●トークセッション

「アクティブラーニングとICT」

時間 15:30 - 16:50

◆コーディネーター

・難波美帆氏 グロービス経営大学院/北海道大学

◆パネリスト

・塚田 淳氏 文部科学省高等教育局大学振興課

・小田島新氏 紫波総合高等学校

・讃井康智氏 ライフイズテック株式会社

## <プログラム3 教育ICTフェア >

### 1. 教育ICTフェア

時間 13:00 - 18:00

会場 とかちプラザ レインボーホール  
エントランスホール

### 2. 企業プレゼン

時間 17:00 - 17:40

会場 とかちプラザ レインボーホール

※プログラム終了後に、情報交換会を行います。ぜひ、ご参加下さい。

FAX番号 0155-62-7412

10月3日（火曜日）までにお申し込みください

送信先 白樺学園高等学校  
教育ICT実践セミナー実行委員会（芦澤）

## FAX送信票 鏡文不要

教育ICT実践セミナー2017に参加申し込みいたします。

\_\_\_\_\_  
中学校・高等学校

氏名	模擬授業	シンポジウム	備考

※参加されるイベントに○をつけてください。氏名を書ききれない場合はコピーしてください。

## 教育ICTフェア参加企業さま

## 【日本データパシフィック】

- ・タイピング練習ソフト「TYPEQUICK」
- ・高校生のための情報社会と情報モラル教材「高校INFOSS」

## 【デジタルアーツ】

『国内TOPシェアのWebセキュリティ、メールセキュリティ、ファイルセキュリティを提供』

## 【ENAGEED/エナジード】

AIやロボットには奪われない力を養うため、未来や他者視点でゼロから1を生み出します。

## 【株式会社ワークアカデミー noa出版】

情報教育の授業用教材を制作出版。年間3万冊採用の情報倫理ハンドブックなど人気です。

## 【インヴェンティット】

教育機関向けMDMとして高い評価を頂き、多くの私立・公立学校に導入頂いております。

## 【カシオ計算機株】

電卓や時計でお馴染みですが、教育支援ツールとしてプロジェクターやデジカメ等をご案内いたします。

## 【株式会社ワッセイ・ソフトウェア・テクノロジー】

次の世の中を担う子供達の教育の一端を担えることを誇りとして、教育分野における長年の経験をもとに、便利で安心して使えるコンピュータ環境をご提供。

## 【エプソン】

「エプソンは大容量インクタンクを搭載した新型プリンターをリリースしました。圧倒的な低ランニングコストにより、経費の削減を実現します。」

## 【プリンストン】

ロボット型IoTタブレットスタンドkubiとiPadを使って自分の分身を教室へ！

## 【エルモ】

書画カメラ、電子黒板をはじめとするエルモのクラスルームソリューションをご紹介致します。

## 【島津理化】

「島津理化のICT教材、タブレット顕微鏡、ワイヤレスセンサーPASCOで理化実験をもっとアクティブに！」

## 【Find!アクティブラーナー】

「全ての子ども達をアクティブラーナー（能動的学修者）へ！」をコンセプトに、アクティブラーナーの育成に関わるすべての人たちを対象にした総合情報サイトです。

※この他にロイロノートスクール、Classi、ライフイズテック、ソニービジネスソリューション他が参加いたします。

# 教育ICT実践セミナー シンポジウム

## コーディネーター

難波美帆（なんば みほ）先生



グロービス経営大学院、北海道大学理学院客員准教授。  
北海道大学科学技術コミュニケーター養成ユニット、早稲田大学大学院政治学研究科、北海道大学高等教育推進機構大学院教育部特任准教授を経て、2016年より現職。科学技術コミュニケーション、対話によるイノベーション創発のデザインを研究・実践している。

共著・訳書に『女の子って、どうして傷つけあうの？ 娘を守るために親ができること』、『食卓のメンデル 科学者が考える遺伝子組換え食品』、『閃け！ 棋士に挑むコンピュータ』、『頭脳対決！ 棋士VS.コンピュータ』、編集した本に『新しい高校生物の教科書』、『シンカのかたち 進化で読み解くふしぎな生き物』など多数。

## シンポジスト

塚田淳（つかだ じゅん）先生



文部科学省高等教育局大学振興課 専門官(併)法規係長

1986年、東京生まれ。2009年、東京大学教育学部教育行政学コースを卒業、文部科学省に入省。  
スポーツ・青少年局競技スポーツ課、文化庁長官官房政策課、初等中等教育局幼児教育課、大臣官房会計課、研究開発局参事官付、原子力損害賠償紛争解決センター福島事務所等を経て、2017年8月より現職。

小田島新（おだしま しん）先生



岩手県立紫波総合高等学校 数学科教師

今回の模擬授業では、数学の「学年、校種」の枠を超えた「なぜ？なに？」を生徒に発問し、生徒の自由な発想・発言を引き出す「対話型授業」を展開する予定です。通常の発言、「せーの」による全員での発言、そして、ICTを用いた、自分のノートの発表を、校内無線LANのない岩手県での今年度公開授業でやった通りお見せしたいと思えます。授業法自体は「対話型アクティブラーニング」と大学の先生に命名いただき、論文にもなっている授業です。ICTを使うことで多くの生徒の「アイデア」を簡単に共有・評価できますので、是非ご覧いただければと思います。

讃井 康智（さぬい やすとも）先生



ライフイズテック株式会社 取締役  
NPO法人ライフイズテック・オーグ理事・事務局長  
東京大学大学院教育学研究科 博士課程 所属

1983年福岡市生まれ。久留米大学附設中高卒。新卒で株式会社リンクアンドモチベーションに入社し、コンサルタントとして理念浸透、戦略実行支援等を担当。

現在は中高生向けIT教育のライフイズテック株式会社の取締役として中高生がITを学ぶ場を全国に届けている。Life is Tech!は、NPO法人としての取り組みも含め、この5年間で累計2万人以上が参加する日本最大のIT教育コミュニティとなり、GoogleがIT教育の普及に寄与した団体を表彰するGoogle RISE Awardを2014年に東アジアで初めて受賞した。